

報道関係者各位

2023年2月28日  
株式会社ゆうちょ銀行**「電源開発株式会社向けトランジション・リンク・ローン（協調融資）」への参加について**

株式会社ゆうちょ銀行（東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長 池田 憲人、以下「ゆうちょ銀行」）は、株式会社みずほ銀行（東京都千代田区、取締役頭取 加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）がアレンジャー（主幹事）を務める電源開発株式会社（東京都中央区、代表取締役社長 渡部 肇史、以下「Jパワー」）向け「トランジション・リンク・ローン（以下「TLL」）」の協調融資（以下「本件」）に参加することを決定しましたので、お知らせいたします。

TLLは、脱炭素社会実現に向け、脱炭素化・低炭素化を推進する企業の移行の取り組みを金融機関として支援することを目的としたローンです。金融機関は、借入人のトランジション戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPT」）を設定することで、借入人にトランジション戦略の実現に対するインセンティブを与え、社会における脱炭素化・低炭素化を促進させることを目的としています。

本件におけるSPTは、「2025年度にJパワーグループ国内発電事業のCO<sub>2</sub>排出量を700万トン削減（2017-2019年度の3か年平均実績比）すること」とし、当該SPTの達成状況と融資条件を連動させることとしています。

Jパワーグループでは、2021年2月に、2050年のカーボンニュートラルと水素社会の実現に向けた戦略として「J-POWER “BLUE MISSION 2050”（※1）」を公表し、「CO<sub>2</sub>フリー電源の拡大」、「電源のゼロエミッション化」、「電力ネットワーク」の3つを柱として、電力の安定供給を維持しながらカーボンニュートラルへのトランジションに取り組んでいます。

Jパワーは、これらの取り組みを着実に進めるための資金調達に向け、「グリーン/トランジション・ファイナンス・フレームワーク（※2）」を策定し、当該フレームワークについて、第三者評価機関であるDNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社よりトランジションファイナンスに係る各種基準等への適合性に関するセカンド・パーティ・オピニオン（※3）を取得しています。

ゆうちょ銀行は、今後も引き続き、気候変動の緩和・適応や社会課題解決に資する取り組みを支援するため、TLL等の投融資に積極的な取り組みを進めてまいります。

（※1）「J-POWER “BLUE MISSION 2050”」

URL：<https://www.jpowers.co.jp/bluemission2050/>

（※2）「J-POWER グループ グリーン/トランジション・ファイナンス・フレームワーク」

URL：[https://www.jpowers.co.jp/news\\_release/pdf/news221118\\_1-2.pdf](https://www.jpowers.co.jp/news_release/pdf/news221118_1-2.pdf)

（※3）DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社のウェブサイト

URL：[https://www.dnv.jp/about/overview/business\\_assurance.html](https://www.dnv.jp/about/overview/business_assurance.html)

【本件概要】

融資時期	2023年2月
アレンジャー	みずほ銀行
参加金融機関	ゆうちょ銀行、他国内金融機関

(参考1) ESG投資方針

URL : <https://www.jp-bank.japanpost.jp/sustainability/environment/esg/investment/>

(参考2) TCFD提言への対応

URL : <https://www.jp-bank.japanpost.jp/sustainability/environment/climate/tcf/>